

第4章

計画に込められた思い

1 計画に込められた思い

教育は国家百年の計と言われ、一人ひとりの生き方、そして社会が発展するための礎を築くもので、白井市の未来を創る重要な施策です。

本市では、白井町の時代から、家庭・学校そして地域での教育に力を入れており市民大
学校や総合型地域スポーツクラブなどの推進に積極的に取り組んでまいりました。

本計画の基となる「白井市第2次教育大綱」は、総合教育会議において、教育委員の皆
さんとの活発な意見交換により作り上げたもので、“オール白井”で高める『しろいの教
育』という私の教育に対する思いを込めた基本理念をもとに、学校教育、家庭教育、社会
教育、生涯学習について、4つの基本方針を掲げました。

本計画においては、この基本方針が具体化され、実行性が高まったものになっています。

私は、白井の子どもたちが健やかに成長し、自分たちが住んでいるまちに誇りと愛着を
持ち、生涯を通して住みたいと思える、魅力あふれるまちづくりに取り組んでおります。

本計画により、多くの皆さまの御協力のもと、あらゆる力を結集して次世代の子どもた
ちに豊かな白井市を引き継いでいけるよう一層の取組を進めてまいります。

白井市長 笠井 喜久雄



～小学校での社会科特別授業～

伝統を輝かせ、知恵で未来を切り開く、そんな白井の教育実現のために、市と市民が一体となって活動する。それが「教育振興基本計画」に込められた願いだと思います。一人の市民として学校教育及び社会教育、そして、子どもから青少年、壮年、熟年まで生涯にわたる教育が生き生きと展開されていく白井を夢見ています。

今こそ、文教都市白井を具現化させるべき時です。学んでは教え、教えるために学び、教えれば逆に教えられます。人生は学習と教育の連続です。私自身が、日常の場において、いつも何らかの形で教育活動に関わっていこうと思っています。

白井市教育委員 小林 正継

当市でも一人1台のタブレット端末と学習環境の整備が進められました。大多数の子どもはスマートフォンやタブレットに親しんでいるものの、学校の学習で使うイメージがありません。この移行期は「家庭や地域のサポート力」が追い風になると考えます。子どもたちや保護者が学校といつでも連絡を取り合い、安心して学習できる日々を過ごせるよう、新たな教育環境の構築を進めて参ります。学習意欲や探求心を育むためには、子どもの関心をじっと見守る周囲の温かい目が必要です。白井の子どもたちの明るい未来のために御支援をどうぞよろしくお願いいたします。

白井市教育委員 川嶋 之絵

様々な学校教育現場を見る中で、子どもたちが社会の宝であることを実感しています。

子どもたちは次々と新しい扉を開けて、未知の世界と出会い、育って行きます。その成長を見ることは大きな喜びであり、また、大人への刺激でもあります。変化が激しく早い現代において、学び続けることは生涯の課題となっています。年齢性別に関わりなく、白井市民の皆様が学ぶことで成長・変化していくことの喜びを実感できるような環境を築いていくべく、それぞれの力を出し合いたいと思います。

白井市教育委員 高倉 聡子

「白井の教育」への思いとして、子どもたちを育てるということは、そこに携わる組織、団体また個人が、子どもたちと接して大人へと導いていく、そして将来その子どもたちが、白井市の財産になると思います。コロナ禍でICTが進み非常に便利になり、それと並行して子どもたち同士の触れあう場も提供出来たらと思います。長い歴史や文化が多いこの白井市で育った子どもたちが、白井市に生まれ育ってよかったと思える市であってほしいと思います。その土台となるものが、本計画の基本理念だと思います。家庭教育、学校、地域、教育委員会、市、関係機関を中心として市長の掲げるオール白井の教育につながると思います。この計画が実のある計画となるよう努めてまいります。

白井市教育委員 齊藤 豊

令和3年度より「白井市教育振興基本計画」が始まります。本計画を策定するにあたり教育委員会、関係機関が連携し、「しろいの教育」を見つめ直してきました。本計画は、4つの基本方針（学校教育、家庭教育、社会教育、生涯学習）の下、36の施策と主な取り組みが記されています。これからの「しろいの教育」の道しるべとなり、子どもたちを育み、市民の皆さんの生涯にわたる学習を支えることのできる計画です。本計画が市内小中学校及び関係各機関で活用され、充実した取り組みが出来るよう推進してまいります。

令和2年度白井市教育部長 鈴木 直人

「児童生徒が伸びる時」それは、適切な学習課題と支援があり、意欲的に取り組み、できた・わかったことを褒められ、認められた時です。児童生徒の喜ぶ姿で保護者から信頼され教師の張り合いも増し、さらに指導力を磨き、それがまた児童生徒の学ぶ意欲の高揚につながります。この相乗関係を支えるため、白井市においては、学校現場の意見を取り入れながら、様々な施策を講じられてこられました。

本計画では、その取り組みが整理され、新「学習指導要領」完全実施に伴い、さらに新しい施策が加えられています。継続して今まで以上に学校教育を支援していただける本計画に期待し、学校現場も「未来の宝・児童生徒」の育成に力を合わせてまいります。

令和2年度白井市校長会長 小泉 淳一

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため、これまでに経験したことのない学校生活となりました。様々な混乱、困難に対して、子どもたち一人一人が身に付けていた対応力を発揮する1年でした。今後もAI（人工知能）の発達によりいろいろな面で社会に変革をもたらすであろう事もいわれています。私たち教職員は新しい学びの形を創出しながら、子どもたちの力を伸ばしていかなければなりません。本計画には様々なことに対応できる「未来を生き抜く力」が記されています。教頭会としても本計画が実現していけるよう尽力していきたいと思えます。

令和2年度白井市教頭会長 武澤 和広

児童生徒にとって、1時間ごとの学習が「楽しい・分かった・もっと知りたい」となることが、学習意欲の向上、学力の向上につながっていくのではないかと考えています。「意欲を高める学びの創造」として、ICTを積極的に活用した授業づくり、見やすく分かりやすい板書づくりを両立させ、指導・支援の質を高めていくことが大切であると思えます。そのために、教員相互の研修や市教育委員会の指導・助言をいただき、本計画をもとに授業を向上し、子どもたちの「未来を生き抜く力」を育てていきます。

令和2年度白井市教育研究会教務部長 阿部 哲

本計画は、学校教育・家庭教育・社会教育・生涯学習と多岐にわたり、改めて「教育」とは在学中だけではなく、生涯にわたり必要なものと実感いたしました。

特に、子どもたちを取り巻く各事業では、主体的・対話的で深い学びを通して子どもの豊かな心の育成となるよう具体的に計画に位置付けられています。生涯にわたる「教育」を楽しめるよう強固な礎を築くことが大切です。

未来を担うすべての子どもは「社会の宝」です。"オール白井"で高める「しろいの学び」が実践できることを期待しております。

令和2年度白井市小中学校PTA連絡協議会長 近藤 健司

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は前例がないほど世界中の教育に膨大な影響を及ぼして続けています。ある資料によると、8億人以上の学習者が影響を受けたそうです。With コロナ、After コロナの教育の場・形態は一層多様性が求められていくでしょう。このような中で策定された「eなしプラン」の中には、重要な4つの基本方針が盛り込まれています。学校・地域・家庭力のさらなる向上、そして、その連携力の向上により、子どもから成人までの誰もが、いつでも、どこでも、健康・安全に、心・知・体についてバランスよく学べる環境づくりが進んでいくことを期待しています。

令和2年度スポーツ推進委員会委員長 涌井 佐和子

郷土を知ることは、私たちがものを考えたり思ったりすることの原点といえます。そして、そのよすがとなるのが地域の文化財です。現在、市には江戸の時代の牧場に関するものをはじめ48件の指定文化財があり、128箇所 of 遺跡が登録されています。これらを保存し後世に伝えていくことは、現代に生きる私たちの責務と言えます。そして2万7千年ほど前、旧石器時代に白井の地に人々の足跡が初めて印されて以来、縄文時代、弥生時代、古墳時代そして歴史時代へと連綿と続く白井の歴史を跡付ける「白井市史」の編纂も併せて欠かせないものといえます。

令和2年度白井市文化財審議会会長 古里 節夫

桜台地区を中心に、幼児から高齢者を対象とした絵本の読み聞かせを「おはなしカレンダー」にて26年間活動しています。日頃から図書館の手厚いサポートを受けつつ、地域への働きかけも大切にしています。学びは、いつでもどこにでもあるものだと感じています。

人間は、学校教育の中で新しい知識や体験と出会い、生きる術を身につけます。社会人となった後も好奇心を持ち、学ぶことに喜びを感じます。白井の教育に対しては、学校教育・家庭教育・社会教育・生涯学習での基本方針に基づいた具体的な施策を打ち出し、私たち市民が豊かな生活を送るサポートを実施してくださることを期待いたします。

令和2年度白井市図書館協議会長 中野 美里